

愛知県生活基盤施設耐震化等補助金チェックシート

計画の名称:	一宮市水道事業耐震化計画
事業者名:	一宮市

チェック欄

I 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性	基幹管路の耐震化は第7次一宮市総合計画で目標として掲げており、数値の時点修正はしているが、考え方は整合が図られており、数値の大きな乖離はない。また、一宮市新水道ビジョンについても同様である。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	当地域は、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法の南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、耐震化は喫緊の課題である。	○
II 計画の効果・効率性		
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	目標に掲げている基幹管路の耐震化については、「管路の耐震管率」や「法定耐用年数超過管路率」、「管路の耐震適合率」を定量的指標としており、目標との整合は図られている。	○
②定量的指標の明瞭性	定量的指標はPI(業務指標)を用いており、広く住民にわかりやすいものとしている。	○
③目標と事業内容の整合性	事業内容は基幹管路の耐震化であり、目標と整合している。	○
④事業の効果の見込みの妥当性	本事業で耐震管を採用することで、震災時に安定供給を図ることができる。	○
⑤当該事業を実施する水道事業者等においてPPP/PFI手法の導入が検討されているか。(事業費10億円以上のもの)	本事業の実施にあたって、PPP/PFI手法の導入について検討している。	○
III 計画の実現可能性		
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)	水道事業の現状や事業内容、事業の必要性について、広報やホームページ等で住民に理解を求めるとともに、事業実施にあたっては河川管理者、鉄道管理者との協議は進んでおり、着手までに完了する見込みである。	○
②地元の機運(当該事業に係る要望等)	令和3年6月に一宮市議会の一般質問で耐震化や老朽管更新について質問があり、地元からの関心が高い。	○